



4月30日

聖ピオ5世 教皇 教会博士 記念

ミカエル・ジスレリは1504年、イタリア、ピエモンテのボスコに高貴ではあるが困窮に陥った両親のもとに生まれた。

14歳でドミニコ会に入会し、年若い修道者ながらも慎重さと堅実な信仰心に際立ち、1528年に司祭に叙階されたがまもなく、神学博士となり、16年間会の各所の神学院で神学を教え、心理と誠実に対する愛を示した。

1551年に宗教裁判所委員に、1556年には教皇ピオ4世により、ネピとストリの司教に任命され、2年後に枢機卿の位にあげられたのである。

1556年、教皇に選出され、ピオ5世と名乗った彼は、教会内とりわけ聖職者間とローマミサ典書における大改革をなし遂げた。また彼の祈り、特に「ロザリオの祈り」により、レパントの海戦で神の手から、キリスト者の勝利を受けている。1572年5月1日「よい牧者」のすべての務めをなし遂げ、帰天。遺体は、ローマの聖マリア・マジョーレ聖堂に眠っている。1712年、教皇クレメント11世により、聖人の列に加えられた。

【 聖ドミニコ会聖人・福者暦】

1982年、米国ニュージャージー州 サミットドミニコ会ロザリオの聖母修道院発行

1984年、ドミニコ会聖ヨゼフ修道院 (瀬戸市東長根町) 翻訳

2006年、ドミニコ会岡本哲夫神父 (ロザリオ管区) による改定版から